

## 伸銅品生産・出荷動向 2023年8月速報

### ○生産（8月速報）

2023年（令和5年）8月度 45,630トン、（対前年比▲15.4%）。20ヶ月連続の対前年比マイナス。〔対2021年比▲16.9%〕〔対2020年比+24.4%〕〔対2019年比▲14.5%〕。対前月比は▲14.1%。

8月としては2020年（36,682トン）以来の低水準。

車載向け以外の半導体にも底打ちが見られるが、世界各地の需要減の影響を受けている。自動車端子・コネクタは完成車の増加と部品の在庫消化が進み実需は回復傾向にある。スマートフォンは回復基調もデジタル家電は世界需要が総じて低調。エアコンは猛暑前の店頭販売の不調と店舗向けが低調。住宅設備機器向けは、部品在庫調整と住宅着工減からガス機器や水栓金具需要が低調。全14品種のうち銅線、黄銅板を除く12品種が対前年比マイナスとなった。

### 主要品種動向

銅条：（17,330トン）、12ヶ月連続の対前年比マイナス（▲12.0%）〔対2019年比（+0.6%）〕。半導体需要のうち車載向けは安定しており、自動車端子・コネクタ部品は回復基調となってきた。スマートフォン生産は増加しているが、デジタル家電は世界的に需要の低迷している。

黄銅条：（6,060トン）、20ヶ月連続の対前年比マイナス（▲11.3%）〔対2019年比（▲9.6%）〕。自動車は銅条と同様の状況。民生用コネクタはデジタル家電が総じて低調。

青銅板条：（1,647トン）、18ヶ月連続の対前年比マイナス（▲18.8%）〔対2019年比（▲12.5%）〕。スマートフォン向けは緩やかに回復が進みつつあるが、デジタル家電は総じて低調。EV向け部品は堅調。

銅管：（3,831トン）、7ヶ月連続の対前年比マイナス。（▲23.1%）。〔対2019年比（▲45.6%）〕。エアコンは猛暑前の店頭販売の不調から回復に至らず低調。パッケージエアコンは大型物件再開の動きがあるが、工事の遅れや店舗向けが上向かない。

黄銅棒：（10,687トン）、20ヶ月連続の対前年比マイナス（▲21.6%）〔対2019年比（▲19.3%）〕。住宅設備関連は非接触式温水器など一部堅調だが、住宅設備機器向けは住宅着工の減少や工期の遅れからガス機器や水栓金具需要が総じて低調。自動車部品は回復基調。

### ○出荷（7月出荷）

2023年7月の伸銅品出荷量51,580トン、対前年同月比は▲19.2%。11ヶ月連続の対前年同月比マイナス。全ての分野が対前年比マイナス。内需向けは11ヶ月連続の対前年比マイナス（▲18.0%）。輸出向けは16ヶ月連続の対前年比マイナス（▲25.4%）となった。